

森村泰昌のあそぶ美術史 ほんきであそぶ美術史のせいかい

Morimura Yasumasa: Want to change the world? Be seriously unserious

記念対談 日比野克彦×森村泰昌

「びじゅつであそぶ 2 人のゆくえ(仮)」

日時: 2020年4月18日(土)14:00~約90分(開場13:30)

会場: 富山県美術館3階ホール(約100名)

日比野克彦氏、森村泰昌氏の対談。90年代に世界的に評価され、今も多様に活躍される2人に、2020年の今、美術についてお話し頂きます。

* **ホールの開場13:30**。開場前にお並びになる方は誘導係員の指示等に従い、お並び下さい。

* 本講演会の聴講は無料です。ただし、入場の際に、企画展「森村泰昌のあそぶ美術史」展のチケットをご提示ください。

* 本講演がご覧になれる場所(ホール、図書コーナー)での、飲食、録音・撮影などはできません。

予めご了承ください。(当館の記録として腕章をした係員が写真・動画の撮影等します。)

* ホールには「ヒアリンググループ補聴援助システム」が設置されています(受信機の貸出もあります)。

ひびのかつひこ

日比野克彦 /アーティスト、東京藝術大学美術学部長、岐阜県美術館館長

略歴:1958年岐阜市生まれ。1982年 東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。1982年日本グラフィック展大賞受賞。1984年 東京藝術大学大学院美術研究科修了。2015年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞(芸術振興部門)。段ボールを使った作品で脚光を浴びる。舞台美術など多方面で活躍中。近年は各地でアートプロジェクトを行い、富山では「種は船航海プロジェクト」(2012年~)の一環で氷見漁港を訪れ、地域の文化を新たな視点を加えた。東京都美術館と東京藝術大学との連携した「とびらプロジェクト」、岐阜県美術館でのアートコミュニケーター「~ながうー」の活動など、美術館で様々なヒト・モノ・コトが交流する多数の事業の牽引。現在、岐阜県美術館長。東京藝術大学美術学部長、先端芸術表現科教授。日本サッカー協会社会貢献委員会委員長、東京都芸術文化評議会専門委員。



日比野克彦氏

もりむらやすまさ

森村泰昌 /美術家

略歴:1951年大阪市生まれ。1985年、ゴッホの自画像に扮するセルフポートレート写真を制作。以降、一貫して「自画像的作品」をテーマに作品をつくりつづける。近年の個展に「Theater of Self」(アンディ・ウォーホル美術館、2013)、「森村泰昌:自画像の美術史—『私』と『わたし』が出会うとき」(国立国際美術館、2016)、「The History of the Self-Portrait」(プーシキン美術館、2017)、「Yasumasa Morimura: Ego Obscura」(ジャパン・ソサエティー、2018)、「森村泰昌:エゴオブスクラ東京2020—さまよえるニッポンの私」(原美術館、2020、4月12日まで開催)等。また、ヨコハマトリエンナーレ2014では、アーティストック・ディレクターを務めるなどキュレーションも行い、2018年には大阪・北加賀屋に自身の個人美術館「モリムラ@ミュージアム」が開館。『たいせつなわずれもの』(平凡社)、『自画像のゆくえ』(光文社新書)ほか、著作も多数。2006年京都府文化功労賞、2007年度芸術選奨文部科学大臣賞、2011年第52回毎日芸術賞、日本写真協会賞、第24回京都美術文化賞を受賞。2011年紫綬褒章を受章。当館企画展「森村泰昌のあそぶ美術史—ほんきであそぶとせいかいはわかる」ではゲストキュレーターを務める。



森村泰昌氏



富山県美術館
Toyama Prefecture
Museum of Art & Design

〇問い合わせ

富山県美術館 TEL 076-431-2711/FAX 076-431-2712

<https://tad-toyama.jp/>